

# Fusyo Collaboration letter



11月28日

No.34

文責 廣田 秀俊

## 火事が広がるまで 10 分 どのような取り組みが？

学習問題:『私たちの安全を守ってくれている消防署の人たちは、どのような取り組みをしているのか?～死者や負傷者を減らしている秘密を探れ～』をもとに、3年生の社会科の授業が始まりました。この学習問題から、予想の交流を行い、小課題を立て、学習計画を立てていく学習の流れを確かめました。

早速子どもたちの予想が次々と出されていきます。その意見を皆がしっかり受け止めます。

- ・すばやく行動している～火事が広まる 10 分以内に一刻も早く現場に着く
- ・24 時間体制～警察署の学習で学んだことと一緒にいつでも出動できるようにしている
- ・通信指令センターのような働き～夜中でも対応できるようにしている
- ・消防学校～学校で積んだ経験を活かして火災現場に駆けつけている
- ・いろんな人と協力している～道を空けてもらう 信号操作 等
- ・ニュースで知らせる～火災が発生したとき 火災を防ぐ呼びかけもしている 等



ここで出された予想を大きく 3 つに分けて考えていきました。

子どもたちの声をもとに小課題を立てていきます。

- ① 火事が起きる前にどんな準備をしているのか
- ② 火事が起きた時にどんなことをしているのか
- ③ 消防署以外の人も関係しているのか



この課題を解決するための学習方法を探っていきます。iPad に一人一人が、どのように学習を進めていくのかの計画を書き込んでいきました。

「班で話し合った後、ペアで確認し自分でまとめていく方法」「最初はペアで課題を話し合いながら、困ったときに班でも聞き合う方法」「迷いが出ないようにまずは一人で考え、行き詰まったら相談をする方法」など、自分で学習を調整していく見通しを持って次のステップへ臨んでいきます。友だちのやり方の紹介も聞きながら、自分なりにまとめていきました。

ふり返りでは、一人一人が次のことを意識しながら、この時間の学びを見返していました。

どんな学習方法にしたいのか、今日の授業で手に入れた新しい知識はどんなものだったか、また自分の考えはどんなふうに広がっていったのか、次の授業にはどのように臨むのか。次へつなげる学びを常に意識している3年生。今後消防署にも見学に行き、その秘密をしっかりと探っていきます。

